



医療法人光生会 赤岩病院

愛知県豊橋市

円形のカーテンウォールが特徴的な外観

赤岩病院（市川雅祥院長、412床）は、慢性期を中心とした入院専門療養型病院で、一般外来は行わず紹介、予約入院制となっている。9年前に導入した看護支援システム（光ネットシステム）は順調に稼働しており、効率的な看護・介護を行っている。光生会では、法人本部が経営、人事、資材調達などを統括管理しており、同病院のシステムをベースとしてさらに院内システムの充実を図っている。一方、赤岩病院では現在233床ある介護型病床の転換が大きな課題となっている。

看護・介護記録の効率化を实践
グループで経営・人事など管理



大理石を使ってデザインされたホテルのようなホール



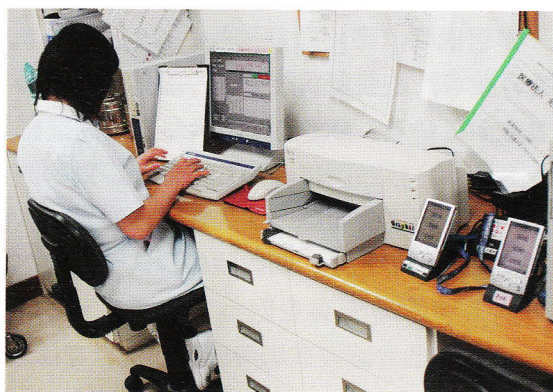
広さ244平方メートルのゆったりしたスペースがとられた食堂でくつろぐ患者たち



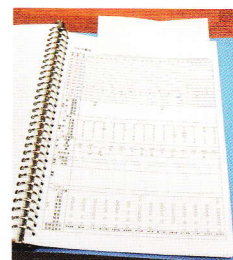
携帯端末を使って患者の情報を光ネットシステムに記録している



光ネットシステムの導入によって看護師がナースステーションで机に向かって作業する時間が少なくなった



光ネットシステムに看護記録を入力する看護師



携帯端末を使って送られた体温、脈拍、血圧などのバイタルデータは瞬時にグラフ化できる

規定の30%増のスペース 光ネットでケアのゆとりも

光生会（市川朝洋理事長）は可知義兵太氏が1926（大正15）年に開設した可知病院から歴史が始まり、昨年で80周年を迎えた。1945年の豊橋大空襲により病院施設を焼失したものの、53年に光生会病院を設立。現在はグループの中核として急性期の医療を担っている。赤岩病院のほかに、老健施設の赤岩荘、デイサービスセンターなどの関連施設が豊橋市内にある。

赤岩病院の設立は73年。慢性期の療養型病院として豊橋市民病院や国立豊橋医療センターなど地域から患者を受け入れ、臨床検査は光生会臨床検査センター、侵襲的な検査、治療、手術は光生会病院やほかの一般急性期病院へ依頼している。

玄関を入ると大理石を使ったホテルのようなホールが迎え、明るい外光を取り入れたゆったりとした広い食堂で患者がくつろぐ。病床面積は規定の30%増のスペースがとられ、病室のベッドの間仕切りは木製の特注家具を

使ってプラバシーを確保している。

看護支援システムは、看護・介護スタッフが携帯端末を使ってベッドサイドで情報を記録・照会ができるようになっている。ナースステーションでの記録や転記作業を軽減し、患者に接する時間を増やすことを主な目的として導入された。ケアプラン作成もこのシステムを使って行っている。

「記録にとらわれる時間を減らして、患者と接する時間を増やそうと、約1年以上かけて導入した独自のシステムです」と市川院長が話すこのシステムをベースとしてさらに開発が進められ、グループの中核である光生会病院でIT化が進められている。

介護233床の転換に向けて 回復期リハ病棟も視野に

光生会法人本部では、グループの経営・人事の管理などを統括している。資材の購入も一括して行い、物品購入においても規格化を図ってコスト削減を図っている。

「体を資本にした大変な仕事ですが、崇高な仕事で



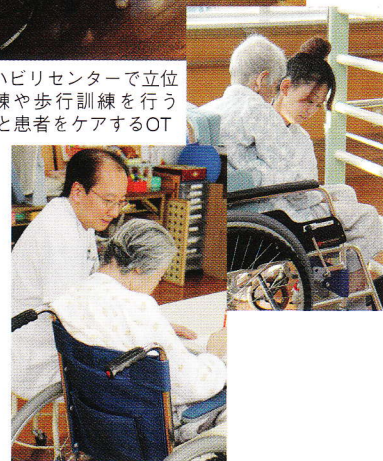
420平方メートルの広さを持つリハビリセンター



患者がゆっくりくつろげる屋外テラス。防災の避難スペースになっている



リハビリセンターで立位訓練や歩行訓練を行うPTと患者をケアするOT



あることをスタッフに伝え『心が伝わる看護を』とスタッフに呼びかけている」という谷原弘美看護部長は、光生会全体の看護を統括している。看護・介護スタッフの募集も法人本部で行う。「スタッフの確保には苦勞しており、できるだけ働く側の条件に合わせて採用している」と話す。

赤岩病院は初期リハビリを中心とした医療179床、維持期を中心とした介護233床からなる。このうち介護の病床転換を具体的にどう進めて行くかが大きな課題となっている。「医療病棟を増床して終末期の医療を充実させるとともに、この地域では不足している回復期リハビリテーション病棟を新設することも考えている」と市川院長。松山喜一事務長は「介護療養病床が廃止になることで、国から緩和措置が示されているが、療養型老人保健施設の介護報酬と4月に改定される介護報酬を見極めて転換の判断としたい」と話している。（加納浩志）



市川雅祥
院長

当院は地域のニーズに応え、信頼される病院を常に目指しています。そのために第一には安心できる良質な医療と快適な療養環境を提供する。第二に系列および近隣の急性期病院との連携をさらに強化させることが必要と考え、取り組んでいます。『特別なことをするわけではなく、当たり前のことを普通に行う』。意外と難しいのですが、これが重要なことだと考えています。

（2008年11月1日現在）

概要

診療科目／内科、リハビリテーション科、放射線科
ベッド数／412床（医療179床、介護233床）
スタッフ数／253人（医師14人、看護師83人、介護職員102人、リハビリ療法士10人、医療技術職員15人、栄養士4人うち管理栄養士3人、事務職員他25人）
入院基本料／医療型：看護25:1（5:1）、介護25:1（5:1）

介護型：看護6:1、介護4:1
病床利用率／98%（2008年度上半期）
平均入院数／403.6人（2008年度上半期）
住所／〒440-0021 愛知県豊橋市多木町字蟬川33-70
TEL／0532-62-2105
URL／<http://www.koseikai-hp.or.jp/>